

宮城県「ENEOSの森」開所式を開催 ～環境貢献活動として森林保全を実施～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、環境貢献活動の一環として、6カ所目となる「ENEOSの森」を宮城県利府町に設置し、11月18日(土)、開所式を行いましたのでお知らせいたします。

「ENEOSの森」は、地方自治体または社団法人国土緑化推進機構とパートナーシップを結び、一定エリアの未整備な森林の保全を支援する活動で、これまでに北海道、神奈川県、奈良県、岡山県、山口県の製油所近隣5カ所に設定しております。今回6カ所目となる宮城県「ENEOSの森」は、宮城県が新設した「わたしたちの森づくり事業」で、森づくりや森林レクリエーションを行う団体や企業が、宮城県と森づくりに関する協定を締結し、森林保全活動のフィールドとして県有林を使用することができ、かつ県有林の命名権譲渡を宮城県が全国で初めて制度化した事業の第1号の事例となります。

今回の開所式は、柔らかな秋の日差しの下、宮城県副知事 伊藤 克彦様をはじめ来賓の方々、ならびに当社代表取締役副社長 小林 俊和、執行役員東北支店長 馬渡 渉、新日本石油精製執行役員仙台製油所長 小菅 章光の他、社員およびその家族を含む総勢163名が参加する盛大なものとなりました。挨拶、看板除幕式、記念植樹等の式典の後、NPO法人宮城県森林インストラクター協会の指導の下、植樹、杉林の手入れ、竹林整備、遊歩道づくりなどに汗を流しました。昼食では、NPO法人宮城県森林インストラクター協会手作りの芋煮鍋に舌鼓を打ちました。こうした、自然に触れ合う様々な体験を通じて、森林保全の意義を参加者一同あらためて再認識しました。

また、当社は、(社)日本野球機構のオフィシャルパートナーを務めており、同機構の活動に賛同して、植樹する樹種の一部に、野球用バットの原木であるアオダモを加え、森林保全の重要性と共に、参加した子供達に将来の夢をアオダモの育成に託しました。

記

【開所式の概要】

1. 日時 : 2006年11月18日(土) 10:00～14:00
2. 場所 : 宮城県利府町の「ENEOSの森」およびその周辺(宮城県利府町菅谷字館1-1の内)
3. 参加者 : 宮城県 : 4名
(社)国土緑化推進機構 : 1名
NPO法人宮城県森林インストラクター協会 : 30名
当社社員、家族 : 128名
4. 式次第 : (1)挨拶
・新日本石油株式会社 代表取締役副社長 小林 俊和
・宮城県 副知事 伊藤 克彦 様
・社団法人 国土緑化推進機構 常務理事 大島 克郎 様
・NPO法人 宮城県森林インストラクター協会 大原 一治 様
(2)「ENEOSの森」看板除幕式(除幕者:当社代表及びご来賓)
(3)記念植樹(アオダモなど)
(4)森林保全活動
サツキの植樹、杉林の整備(つる切り、枝打ち、ゴミの清掃等)、竹林間伐整備、遊歩道作り、など

以上

● 別添資料:「ENEOSの森」開所式風景写真



「ENEOSの森」の看板を囲む参加者



杉林を整備する参加者



サツキを植樹する参加社員の家族